

彫刻のささやきが聞こえますか

道端で、愉快な表情をのぞかせている彫刻たちを、皆さんは見かけられたことがありますか。これは石彫作家・鈴木政夫さんが制作されたもので、日生中央駅を中心に、170体余りの作品が点在しています。彫刻たちは、様々な場所にたえずみ道行く人々を見守っています。さりげなく、どこまでもさりげなく人々の暮らしの中に溶け込んでいる彫刻は、けっして自分の存在を、見る人に押しつけることはありません。皆さんも、四季の変化とともに様々な表情を見せる彫刻たちに出会いに行きませんか。

～彫刻の道ガイド～

赤く塗りつぶした道が「彫刻の道」です



银山公会堂～金山彦神社コース
道路沿いに7体設置されています。

日生中央駅～松尾台～猪名川町役場コース
日生中央駅からうきいす池公園を通り、旧原広根線から役場までの間に25体設置されています。

伏見池公園～内馬場コース
公園周辺に15体、公園から内馬場への小道に16体設置されています。

～『彫刻の道』ができるまで～
猪名川町に点在する彫刻を手がけた鈴木政夫さんは、愛知県在住の石彫作家です。当初彫刻は、昭和50年に日生ニュータウンの住宅地内の車止めに替わるものとして設置されました。その後約25年間にわたり、内馬場や原、银山などの道端に63体設置され、『彫刻の道』と名づけられました。彫刻の道に関する問い合わせ、パンフレットを希望の方は、農林商工課（766-8709）へ。

★星ものがたり

エウロペをさらった牡牛

東の空高くホタルの群れのようにひとかたまりになった星の集団が、おうし座のプレアデス星団(スバル)です。2本の角をふりかざす姿は、プレアデスからたとえどと良いでしょう。『王女エウロペが海辺で遊んでいると、どこからともなく雪のように白くておとなしそうな牡牛が、エウロペのそばに近づいてきました。』

「私をどこへ連れて行くの」と尋ねると、牡牛はやさしく、「私は大神ゼウスで、おまえを花嫁にするのだよ」と答えました。二人はクレタ島の海岸につき結婚しました。ヨーロッパの地名はこのエウロペからついたといわれています。

★猪名川天文台よりお知らせ★
 観望日 1月11日(土)12日(日)
 観望時間 午後6時～同9時
 問合せ 農林商工課(766-8709)

はい！ポーズ

おおしま いのり
大島 偉聖くん
1歳1カ月(笹尾)



16年ぶりに産まれた我家の王子様！いつも私達に笑顔をくれてありがとう。一杯、思い出を作ろうネ。
父 正士・母 里美さん

たかせ うらん
瀬 心蘭ちゃん
1歳2カ月(差組)



いろんな生命のバトンを受けて、産まれてきました。4人の兄たちに囲まれて、楽しく過ごす毎日です。
父 雄康・母 優子さん